土地と資産の最有効利用支援

方針・基本的な考え方

当社グループは「代々受け継いだ大切な土地を 次世代に残したい」という想いに寄り添い、オー ナー様の課題を解決するために生まれました。創 業以来、オーナー様の課題解決を第一に事業を拡 大してきましたが、土地と資産に関する悩みは、 社会変化とともに大きく変化します。当社グルー プを取り巻く事業環境においても、今後、高齢化 のさらなる進行、単身・核家族世帯の増加などに より、賃貸住宅需要の拡大や、築古建物の増加な どが予想されます。これに伴い、オーナー様の課 題も、相続財産や土地の安定運用についてといっ た従来の課題だけでなく、賃貸住宅管理の多様化 や経年による不動産競争力の低下など、多岐にわ たるようになると考えられます。同時に、地域社 会においても少子高齢化や過疎化、災害への不安 などさまざまな課題を抱えています。当社グルー プでは、これらの課題を事業領域の拡大や競争優 位性の強化につながる大きな機会として捉え、安 心して豊かに暮らせる環境を提供していくことで、 まちの活性化、地方創生に貢献していきます。

●価値創造出力を高める2軸のビジネスモデル

建設事業・不動産賃貸事業

不動産開発事業

大東建託の経営理念「我が社は、限りある大地の最有効利用を広範囲に創造し、実践して社会に貢献する。」は、100年企業に向けた次の50年でも変わることはありません。さまざまな理由で土地活用ができなかったり、やむを得なく資産継承を断念しなければならない方もおり、まだまだ、最有効利用が可能な土地資産は尽きていません。

当社グループは、50年で培ったビジネスモデルを不動産開発でも活かし、今後の企業成長の第2の柱に仕上げてまいります。

主な取り組み

賃貸経営受託システム

≪詳細は「大東建託グループ 統合報告書2025」P15「大東建託グループー体の事業活動」をご確認ください。≫

需要に即した適正な供給と事業提案

立地条件や周辺環境、入居者様ニーズなどを調査・分析したうえで、オーナー様の目的に合わせた最適な建物賃貸事業を提案します。また、建築に使う資材の調達から設計・施工、完成の際に行う検査に至るまで、一貫した体制による徹底した品質管理を実施することで、高品質・高耐久の賃貸建物を提供しています。

大きな社会変化への対応

インフレ下の市場環境において、建築費・金利・家賃が同時に上昇するというこれまでにない大きな局面を迎えているなか、市場動向をふまえた適切な販売価格と家賃を設定することは、オーナー様の健全な賃貸事業経営と当社収益の最適なバランスの維持につながります。

また、地域密着型イベントの積極展開によりオーナー様や自治体、地元企業との連携を深め、受注ルートの拡大を図ってまいります。さらに、ZEHなどの環境配慮型賃貸住宅の供給にも積極的に取り組んでいます。

建設施工量の維持拡大

建築技術者が不足するなか、これまでは不均一であった各月の施工量を、綿密な工事計画・施工管理により平準化しています。これにより、建築コストを削減するとともに施工量の余力を生み出し、高い施工品質の維持・さらなる受注増加に対応できる施工体制を整備していきます。

施工量の平準化により工事担当者一人当たり出来高は、前年比7.4%向上しました。引き続き平準化に取り組み、受注増加へ対応できる施工体制を構築します。

サステナビリティ 環境 社会 人材・組織 企業統治 土地・資産 賃貸住宅 暮らし・生活

土地と資産の最有効利用支援

主な取り組み

総合資産サービスプラットフォーム

「アセトラ」の提供

当社グループは、2023年より、幅広い資産運用をサポートする総合資産サービスプラットフォーム「ASSET TRANSFORMATION(アセトラ)」の提供を開始しています。アセトラは、資産運用に対して漠然と不安をお持ちのお客様、のお客様までを対象に、のお事を投資から相続対策まで、あらゆる解決手のシェルジュによる専門知識を活かしたサポートや、AIによる各種シミュレーション機能も備えています。

当社グループはアセトラを通じて、お客様のニーズに柔軟に対応し、より幅広い資産運用のサポートを実現するとともに、従来の土地活用サポートでは接点のなかった新たなお客様との出会いを創出しています。また、アセトラはマテリアリティKPIに設定されています。

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
総合資産サービスプラットフォーム (アセトラ)登録者数	人	_	2,267	4,746
総合資産サービスプラットフォーム (アセトラ)成約率	%	_	0.31	0.73

サステナビリティ 環境 社会 人材・組織 企業統治 土地・資産 賃貸住宅 暮らし・生活